

認知症高齢者の方々の人間的尊厳を尊重し、こころ 温まる医療と地域から愛される病院を目指します。

- ①認知症疾患の特性を踏まえ、一人ひとりに対する 医療と温かみのある看護の提供
- 2認知症に関する介護教育と啓発活動の充実
- 3地域の医療・保健・福祉との一層の連携と協働
- **⁴**活き活きとした働きがいのある職場づくり
- 5職員一人ひとりが健全な病院運営を努力

患者様の権利に 関する宣言

- ●良質な医療を平等に受ける権利
- ❷選択および自己決定する権利
- ③意識のない患者様および 法的能力のない患者様の権利
- 4十分な説明を受ける権利
- ⑤個人情報およびプライバシーを 保護される権利
- ₃個人の尊厳を守る権利
- ☑通信・面会を自由に行う権利

- 「マイナンバーカードの使い方」
- 家族は今 「母の笑顔が見たい」
- P4 デイケアだより
- P5 THE病棟 「病棟菜園の様子」「節分イベント」
- P6 トピックス
- 「院内リフォーム」「救命講習会」
- 「令和7年度外来診療体制」 栄養管理室からのおしらせ
- P8 開院30周年記念講演会・ 研修案内



⑤ 福井県立すこやかシルバー病院

924 謹上





もうお済みですか?

マイナ保険証をご登録ください

2024年12月2日から現行の保険証は発行されなくなっています。

マイナ保険証には こんなメリットが! 手続きなしで 高額医療の限度額を超える 支払が免除されます



当院でも簡単にマイナ保険証の登録が可能です





当院受付に設置されているカードリーダーに マイナンバーカードを置いていただき、 **顔認証**または4桁の暗証番号を確認後、

同意するをタッチするだけです。

分からない時は スタッフがお手伝いします





「母の笑顔が見たい」

M・K様のご家族

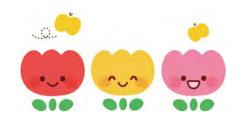
振り返ると、5,6年前から母の様子に異変が見られました。鬱のような症状が現れ、通帳やカードを紛失することが増え、幻覚を見るようになりました。認知症の可能性を疑い、いくつかの病院で診察を受けましたが、脳の萎縮は見られないと言われ、ひとまず安心しました。しかし、幻覚が増え続ける母を見て不安になり、かかりつけの先生に相談したところ、2年半前にすこやかシルバー病院を紹介され、レビー小体型認知症と診断をされました。

薬を処方していただき、症状は落ち着きましたが、家族に認知症の経験がなかったため、母を見守るというよりも監視してしまい、間違いを正したり、食事の量を注意したりしていました。家族(父と姉妹3人)は何が正しい対応なのかわからず、戸惑う日々が続きました。母の変化を受け入れることができず、できないことばかりに目がいってました。

しかし病院を訪れるたびに、先生の穏やかな言葉に助けられ、少しずつ母の状態を受け入れることができるようになりました。ケアマネジャーの勧めでデイサービスやショートステイを利用し、訪問看護の方々にも大変お世話になりました。調子の良い日もあれば悪い日もありましたが、何とか過ごせていました。しかし徘徊や血圧の不安定さ、排便の調整など、日々の不安は尽きませんでした。

今年に入り、レビー小体型認知症の症状である血圧の調整が難しくなり、睡眠も十分に取れず、日中も目が離せなくなりました。先生に相談し、家族でのケアが限界に達したことを認め、入院を決断しました。入院後、母はぼんやりしていることが多かったようですが、薬の調整をしていただき、夜もよく眠れるようになり、面会のたびに元気な姿を見せてくれるようになりました。退院に関しても、今後母が穏やかに笑顔で過ごせる場所を探しています。

先生をはじめ、看護師さんや介護士さん に心から感謝しています。これからも相談 をしながら進めていきたいと思っています。



デイケアだより

デイケアつどいでの活動をご紹介します!

デイケア活動紹介

デイケアでは集団活動の中で、皆さんと楽しく頭や身体の体操を行っています。今回は、デイケアで行っている頭と身体を同時に使う活動を紹介したいと思います。

①足踏み運動をしながら30から反対に数を数える

「29、28、27、26……」と足踏みをしながら反対に数を数えてください。ゆっくり足踏みしたり、速足で足踏みをしたり…簡単そうですが意外と間違えてしまいます。

②足踏みをしながら足し算をする

「1+1は2、2+2は4、4+4は8…足し算をして1000になるまでがんばりましょう」と伝えると「2-! 1000 ~!!」とびっくりされます。途中には計算が間に合わずゆっくり

の足踏みになりながらも、思ったより早くに1000までたどり着きます。「では、次は2000まで挑戦!」というと「やってみよう」と言って下さる方や「難しそう」と言われる方。「いっぺんやってみよう」の声に励まされ挑戦です。終わりには「やったー」と利用者様の歓声や安堵の表情が見られます。



③右手と左手の異なる体操

右手はグーパー、左手はグーチョキパーで別々の動きをやってみましょう。できたら手を反対にして挑戦してみましょう。右手を1、2、3、4、5と指折り数えたり、左手をパー、チョキ、グーに変えたり、慣れてきたら足踏みをしたりと色々変化を加えて挑戦です。





デイケアの皆さんの様子は、間違ってしまっても「あはは~」「難しいわ」と周囲の方と笑顔でにっこり。皆さんで和気あいあい身体と頭の体操を頑張っています。









初!プランターで大根を育てました!!

小さいけど 可愛いな~





1つのプランターに大根4本、合計8本植えました。 大根の引き抜きを 数名の患者さんに

手伝っていただきました。

患者さんたちにスタッフ見守りのもとで大根を切っていただきました。

葉っぱは1枚1枚 丁寧に手洗いしないと… お客さんに出すなら 何かあると大変だし…





葉っぱはお湯でゆがくと 使える、これで何を作るの? 包丁研ぐ道具ない?



患者さんが塩もみして浅漬けを作りました。 塩+本だしにて「優しい味がする」 「白いご飯と一緒に食べたい」 とおかわり希望する人もいました。





鬼はそと! 福がやってくる節分イベント



今年も恒例の節分レクリエーションを各病棟で行いました。最初に節分にちなんだクイズを楽しみました。次に玉入れでは「豆」に見たてた紙製のボールを、4つの箱に入れるゲームを楽しみました。4つの箱には実は仕掛けがあり、箱の底に「おかめ」「鬼」のイラストがそれぞれ2枚ずつ貼り付けてありました。最終的にどちらの箱にボールが溜まったか、で今年の厄払いとなったわけですが…。今年は見事「おかめ」にボールが沢山入りました!これにより「内に福がたくさん舞いこまれる」ということになりました。行事のレクリエーションは季節を感じると同時に普段とは違う活動に、皆さんとても表情が明るく楽しんでいる様子が伺えました。









院内リフォーム

この度、患者様が快適に日々を過ごせるよう、院内のリフォームを行いました。今回のリフォームでは、以下の二点を改善しました。

まず、病棟内の床シートを一新し、これまでの白を基調としたデザインから、木目調の温かみのあるものに変更しました。さらに、従来よりも弾力性のある素材を採用し、万が一転倒された際の衝撃を軽減できるよう配慮しました。

二点目は、照明を全館LEDに交換し、病棟にはダウンライトを追加しました。これにより、夜間も適度な明るさを保ち、周囲を確認しやすくなりました。また、夜間のトイレに向かう際に転倒の不安が軽減され、より安全に過ごせる環境となりました。

これからも、設備の充実だけでなく、患者様が安心して快適に過ごせる環境づくりに努めてまいります。







診療体制が変更となりました

医師の異動にともない、令和7年4月から診療体制が変更になりました。 診療体制は下記の通りです。ご予約の際には、お電話をお願いします。(TEL 0776-98-2700)

外来診療担当医表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
升谷泰裕	午前	再 診	初診	再 診	初診·再診 再 診	再診
	午後		再 診	初診		
森 鉄也	午前	再 診	再診	再 診	再診	初診
	午後	初診		初診·再診		再 診
伊藤達彦	午前				再 診	
	午後				初診・再診	
上野幹二	午前			初診·再診		
	午後					
渋川 隆之介	午前		再診(第三週以外)			
	午後		初診			

救命講習会

当院では毎年、介護福祉士主催の救命講習会を実施しています。今回のテーマは『AED講習会 救急時の対応』。南消防署清水分署職員の方に来院していただき、心肺蘇生法である胸骨圧迫法と、AEDの使用方法について学びました。看護師、介護福祉士のみならず、作業療法士や栄養士の計26名が参加。胸骨圧迫法はスタッフ2名で行い「あばら骨が折れるほどの力で行わないと効果がない」という骨折をいとわない力加減と、1分間に100~120回のテンポ、アンビューバックを使用した人工呼吸には息が上がります。院内に限らず、自宅や外出先でも救命活動ができるよう、定期的に講習を受けることは参加者からも好評です。急変時には迅速に対応できるよう心掛けていきたいです。



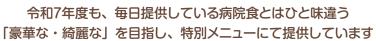




栄養管理室からのらせ



院内の行事食紹介





30周年記念のお祝いランチ



★海鮮ちらし

★海老と野菜の天ぷら ★茶碗蒸し

★しんじょうのあんかけ ★さくら漬け



当院は平成7年7月に開院し、今年で30周年を迎えます。 患者様と一緒に「じゃあ食事で盛り上げよう~!」ということで、 4月はお祝いランチをイベント食として提供させていただきました。



~遠距離介護の幸せなカタチ~

13:00~15:30

[受付開始/13:00]



柴田 理恵氏



福井県生活学習館

ー・アイふくい 多目的ホール

〒918-8135 福井市下六条町14-1



500名

右記QRコード、または お電話にてお申込みください



●主催/(一財)認知症高齢者医療介護教育センター 福井県立すこやかシルバー病院 ●後援/福井県・福井新聞・FBC・福井テレビ・FM福井・認知症の人と家族の会福井県支部



認知症に関する研修実施中(受講料無料)

●時間/13:30~15:00

当院では一般の方を対象に専門スタッフによる認知症予防 や認知症ケアにまつわる様々な研修を行っております。 物忘れが気になり始めた方、介護でのお悩みやお困りの方、 お気軽にお申し込みください。

研修のお申込みは 右記QRコード、 またはお電話にて



4/25 6/20 8/15 6

■生活の質を高める環境づくリ~認知症になっても在宅で暮らす工夫~

4/28 月 7/1 ② 7/25 氫 8/19 ② 9/5 氫 ※14:20終了

■脳を鍛えて認知症を防ごう

5/7 6 6/21 7/8 8 8/5 9/16 8

【認知症の方とのコミュニケーション

■認知症の方の症状悪化の原因を考える

5/15 7/2 7/17 7

■心も体も元気に認知症を理解しリスクを下げよう

5/27\(\Omega\) 7/4\(\Omega\) 9/9\(\Omega\)

■認知症の様々な症状に対するアプローチ

6/10@ 7/22@ 9/22**⑤**

■認知症の方が体験している現実とは

6/124 9/184

【介護保険制度利用のポイント

6/27 9/25 4

【レビー小体型認知症の方のケア

7/144

■認知症の診断・治療・予後(医師の講義)

ご不明な点や申し込みでお困りの方はお気軽に下記の電話番号よりお問い合わせください。

般財団法人 認知症高齢者医療介護教育センター

福井県立すこやかシルバー病院 福井市島寺町93-6 tel.0776-98-2700

<u>~</u>